

## 第七號議案 工場法違反摘發の件

長崎印刷技工組合提出

六

主  
理

文

工場法の規定に則り、賃金不拂ひ其の他の脱法工場に對し監督官廳の徹底的取締りを期す。

主  
理

由

印刷業界はインフレ景氣の高潮と共に漸次好況の歩調を示してゐるにかわらず、競争入札と同業組合の不統制に依り労働者の生ける糧である労働賃金を不當に拂するが如きは社會正義上、將に斷罪に處まるべき輩である。企業家が工場閉鎖その他の場合に賃金に對し労働者の先取權が法定されてゐるにも關らず、民法第三百六條、三百九條に於て借権者の低當權行使に依る強制給資の場合、事實上、労働者が賃金を得得するは極めて困難である。我等は監督官廳に、賃金不拂に對し嚴重なる取締の徹底化を要請すると共に法規の完備を期し以て労働賃金を確守せむとするのである。

實行方法

新執行委員會は各工場毎に、調査して工場法の違反を摘發し、更に總同盟本部に申達して社會大衆黨本部と協力し議會の問題として労働賃金保護法制定を要求する猛運動を展開する。

## 第八號議案 セメント産業國家統制

セメント聯合會アウトサイダーに關する件

主  
理

文

吾等はセメント産業の國家統制を要望すると共に、其の前提として現在するセメント聯合會擴大の爲め加盟工場アウトサ

イダーに向つて聯合會に加盟を要請す。

主  
理

由

文化の進むに伴れて大衆生活に必要缺く可からざるセメント産業の重大性は此所に評議する迄もない。目下、本産業は資本家の下拉斯ト、セメント聯合會ありて製造販賣量の協定が行われて居る。而して五割何分かの生産制限を實施して居るが又一面には各社競つて工場を擴張し新設會社は雨後の筈の如く創設せられつゝある狀態である。之れ全く資本主義自由經濟より來る缺陷であつて必然的に其れ等より生ずる無理は悉く吾等労働階級に轉嫁される。元來重要産業の國家統制は吾等の根本主張である。

セメント産業國家統制の前提として、先ず不完全なり現在のセメント聯合會に全日本のセメント製造者が加盟する事を必要と認める次第である。

其の上に於て吾々は之の聯合會のやる事を監視するのである。

實行方法

大會決議をセメント聯合會に送達して、全セメント産業者の加盟に最大の努力を乞ひ、監督官廳に陳情して全業者のセメント聯合會加盟に斡旋を乞ふ。

## 第九號議案 福岡縣產業委員會設置要求に關する件

本部執行委員會提出

主  
理

文

福岡縣に於ける産業と労働を統制する福岡縣產業委員會の設置を期す。

九州聯合會は第五回年次大會決議を以て労資懇談會の開催を提唱し、小栗福岡縣知事、吉田協調會常務理事並に北九州の進歩的な代表的事業主諸氏の熱烈なる協力、支持に依り、賞讃的成功を收め、この成功が楔機となつて労資懇談會の全國

七